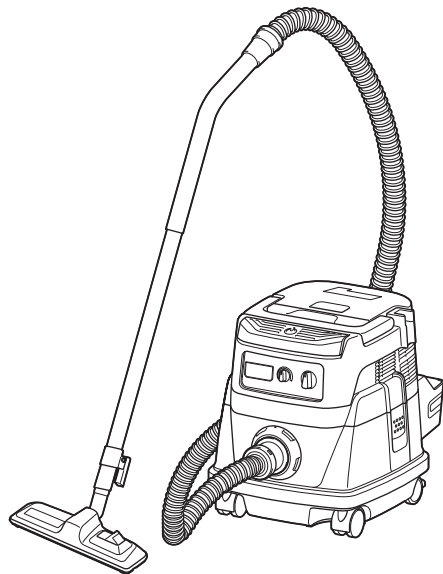


Makita

取扱説明書

ハイブリッド集じん機

☐ モデル VC860D
(乾湿両用)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはハイブリッド集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださいようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ ハイブリッド集じん機の使用上のご注意	11
・ 各部の名称	13
・ 標準付属品	14
・ 別販売品のご紹介	15
・ 日立製電動工具と接続する場合	24
・ 標準付属品ホースを延長する方法	25
・ 使い方	26
・ ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）の接続と取りはずし	26
・ ツールボックスの取り付け方	27
・ ホースの取り付け方	27
・ ポリ袋の取り付け方	28
・ クロスフィルタの取り付け方	29
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	30
・ バッテリー保護機能	31
・ バッテリーについて	31
・ スイッチの操作	32
・ 各種機能	33
・ 吸水時の自動吸込停止機構について	35
・ 切替ノズル（集じん機能）の使い方	35
・ ツールボックスの使い方	36
・ ゴミの捨て方	37
・ 別販売品の使い方	38
・ パウダフィルタの取り付け方	38
・ 粉じんの捨て方（別販売品のパウダフィルタ使用時）	39
・ 別販売品パウダフィルタのお手入れ	40
・ 水用フィルタの取り付け方	40
・ 紙パックの取り付け方	41
・ 運搬・収納	42
・ 取っ手の使用方法	42
・ キャスタの固定・解除	42
・ パイプホルダへの収納方法	43
・ 電源プラグの収納方法	43
・ ホースの収納方法	43
・ 保守・点検について	44
・ フィルタのお手入れ	44
・ 本製品のお手入れ	44
・ ご修理の際は	44

主要機能

電動機	直巻整流子電動機	
電圧	直流 36 V (18 V × 2)	単相交流 100 V
電流	—	11 A
周波数	—	50-60 Hz
消費電力	—	1,050 W
最大風量	2.1 m ³ /min	3.6 m ³ /min
最大真空度	9.0 kPa	24.0 kPa
最大吸込仕事率	70 W	320 W
集じん容量	8 L	
吸水量	6 L	
本製品寸法	長さ 366 mm × 幅 334 mm × 高さ 368 mm	
質量	9.1 kg (BL1860B × 2 個 取付時)	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。
- ※吸水量は使用条件により異なる場合があります。

バッテリーアダプタ類について

- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）と充電式（バッテリーパック式）電動工具の2種類を示します。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外は、電動工具、電源コード、充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具や充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、本製品による感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具や充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
 - ・ 作業者が操作に補助が必要な場合（子供を含む）、安全管理者の監視と指示のもとで使用させてください。
2. 子供が電動工具で遊ぶことがないように注意してください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
4. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
5. 不意な始動は避けてください。
電源式電動工具として使用するとき
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。**充電式電動工具として使用するとき**
 - ・ バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
6. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
7. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

⚠ 警告

電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 電動工具の誤始動を防ぐために次の作業前は、
電源式電動工具として使用するとき
スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
充電式電動工具として使用するとき
スイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した鍵のかかる所に保管してください。
5. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

充電式電動工具として使用するとき

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグやバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

5. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

6. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。

- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなど上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 警告

9. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
13. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
14. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
15. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
16. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ハイブリッド集じん機の使用上のご注意

JPB230-3

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハイブリッド集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

 - ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
 - ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
 - ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
 - ・ トナーなどの可燃物
 - ・ 塗料
 - ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
 - ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
 - ・ じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

 - ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

 - ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

動物などの排泄物、吐しゃ物
3. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
4. 定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
 - ・ 併用すると異常発熱による火災の原因になります。
5. 本製品を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
6. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本製品の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
3. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 急に本製品が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
4. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モータ焼損など、故障の原因になります。
5. フロートが作動したまま運転しないでください。
 - ・ モータの温度が上昇し、部品の変形やモータ焼損など、故障の原因になります。
6. 湿式ノズルを使用する時は本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタを必ず使用してください。
 - ・ 本製品の故障の原因になります。
7. クロスフィルタで繰り返し大量の吸水をすると吸水量が著しく低下します。繰り返し大量の吸水をする場合は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

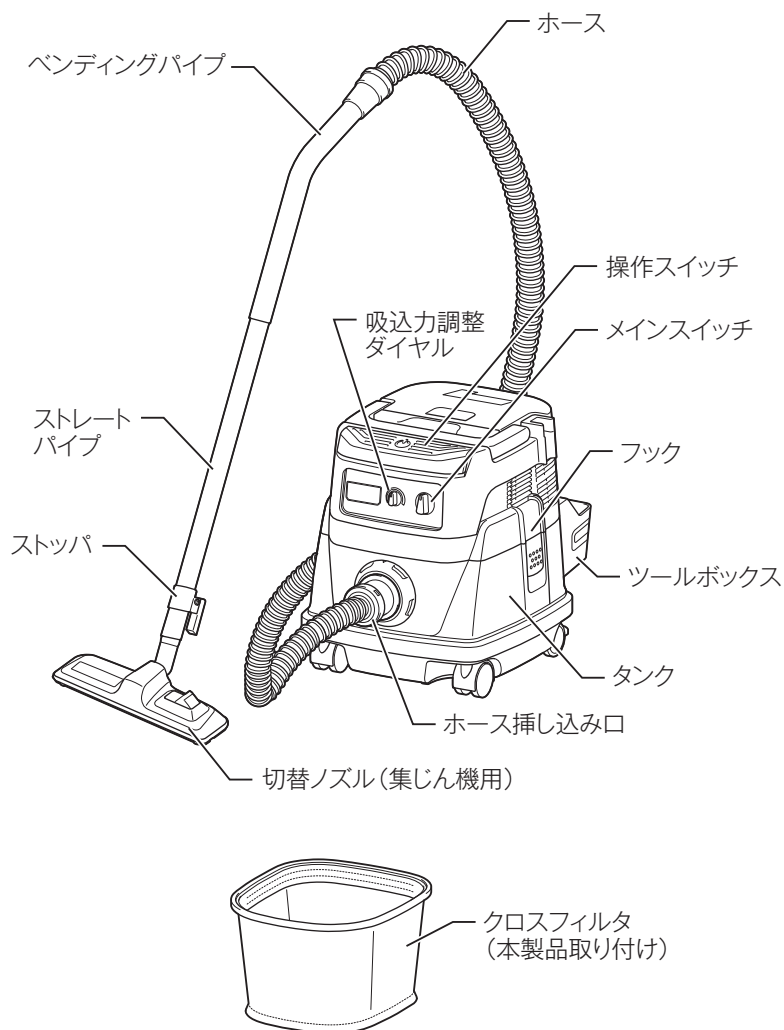
コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。
- ・ 集じん機と工具を連動で使う場合は 2.0 mm² の延長コードの使用をおすすめします。

使用できる充電器の延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm ²	30 m

各部の名称



標準付属品

- ・ ホース（ ϕ 38 mm × 2.5 m）
- ・ ベンディングパイプ
- ・ ストレートパイプ
- ・ ストッパ
- ・ ナベコネジ（M4 × 20）
※ストレートパイプへのストッパ固定用
- ・ 切替ノズル（集じん機用）
- ・ コーナーノズル
- ・ ツールボックス
- ・ クロスフィルタ（本製品取り付け）
- ・ ポリ袋（650 mm × 650 mm）（本製品取り付け、1 枚）
- ・ ポリ袋セット品（650 mm × 650 mm）（10 枚入り）
- ・ ロックコネクタ付ツナギコード（8 m）

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

部品名称	部品番号
バッテリー BL1830B（容量 3.0 Ah） バッテリー BL1860B（容量 6.0 Ah）	A-60442 A-60464
水用フィルタ （水、湿った粉じんなどを吸引するときにご使用ください。）	A-50522
湿式ノズル（湿式用）※	A-47846
クロスフィルタ	A-50479
パウダフィルタ （粉じん用。コンクリート、石材の粉じんなど、細かいものを吸引するときにご使用ください。プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。）	A-50491
パウダフィルタ （粉じん用高性能フィルタ。プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。）	A-59374
プレフィルタ （粉じん用。パウダフィルタ、ダンパとセットでご使用ください。）	A-50485
ダンパ （粉じん用。パウダフィルタ、プレフィルタとセットでご使用ください。）	A-50516

※湿式ノズル（湿式用）について

⚠ 注意

湿式ノズルを使用するときは本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタを必ず使用してください。

- ・ 本製品の故障の原因となります。

別販売品のご紹介

部品名称	部品番号
ノズルアッセンブリ	122512-4
ノズルアッセンブリ A (乾式用)	122334-2
切替ノズル (集じん機用)	A-61329
コーナートノズル	410306-2
ストレートパイプ (ストッパ 部品番号: 451350-0、ナベ小ネジ M4 × 20 部品番号: 911138-5 ナベ小ネジはストッパをストレートパイプに固定する ために使用します。)	192563-1
ベンディングパイプ	197247-6
アンカーノズル (内径φ 28 mm のホース (カフス 22) を併用してく ださい。)	192236-6
ラウンドブラシ	191657-9
ジョイント H (日立製電動工具との接続用)	424009-2
ホースコンプリート 38-1.5	A-59807
紙パック (5 枚入) (紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清 潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。) 乾式ゴミ (粉じん以外) 用	A-48430
紙パック (5 枚入) (紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清 潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。) 乾いた粉じん専用	A-49541
アクセサリバッグ (ホース、パイプなどの付属品をまとめて入れておく ことができます。)	A-46040

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)
穴あけ	防じんボードトリマ 3706BSK		ホースジョイント 22-38 [418165-8] $\phi 38 \times 2.5$ (標準付属品) [A-33532]
	ボード穴あけカッタ (3706)	集じんカバー [A-34621]	
	ハンマドリル HR242D、HR244D、 HR2300、HR2600、 HR2601F、HR2611F	集じんカップ [195049-4]	
	ハンマドリル (小型用 A) (HR161D、HR200D、 HR2011、HR2411、 HR2413、HR2421、 HR1820、HR2400、 HR2510、HR160D)	吸じん装置セット品 (小型用 A) [192176-8]	
	ハンマドリル (小型用 B) HR1830F、HR162D、 HR202D、HR261D、 HR262D、HR263D、 HR1831FT、HR2811F、 (HR2021、HR2230、 HR2440/F、HR2441、 HR2450/F、HR2460/F、 HR2470F、HR1830FT)	吸じん装置セット品 (小型用 B) [193472-7]	
	ハンマドリル (大型用) HR3811、(HR3850、 HR3511、HR3520、 HR3520B、HR3850B)	吸じん装置セット品 (大型用) [192175-0]	
	吸じんハンマドリル HR2432、(HR2430)	カフス [414897-5]	
	ハンマドリル HR4011C、HR4002	集じんアタッチメン トセット品 穴あけ・ハツリ対応 [195741-2]	
	ハンマドリル HR4013C	集じんアタッチメン トセット品 穴あけ・ハツリ対応 [196534-0]	
	ハンマドリル HR5212C	集じんアタッチメン トセット品 穴あけ・ハツリ対応 [196860-7]	
	ハンマドリル・電動ハンマ HM0830、HM0871C、 HM1202C、HM1213C、 HR3530、HR3541FC、 HR4011C、HR4002、 HR4013C、HR4030C、 HR5211C、(HM0860C、 HR4000C、HR5001C)	集じんアタッチメン トセット品 ハツリ作業用 [196567-5]	

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)
切 断	4 型カッタ (4104A)	ノズル [191548-4]	φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	カッタ 4112	エルボジョイント 32 [192613-2]	
	カッタ 4109S 10 型カッタ (4110B/C) ALC 用カッタ 4116		
	スライドマルノコ 卓上マルノコ LS1510 を除く 充電式スライドマルノコ (全機種対応)		
	卓上マルノコ LS1510	ジョイント 40 [JPA122274]	
	糸ノコ盤 MSJ401	ラバースリーブ 36-38 [A-30617]	
	マルノコ盤 2701N (P) スライドマルノコ盤 LT610 パネルソー LT600 電子バンドソー 2114C		
	マルノコ盤 2703	ジョイント 55 [192799-2]	
	防じんマルノコ KS5200FX と 5205FX を除く全機種		
	充電式防じんマルノコ (5036D) (5026D/木工用)		
	防じんカッタ 4123KB		
	防じんカッタ 4103KBASP 4105KB、4105KC (4103KB)	エルボジョイント 32 [192613-2]	

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
切断	電気マルノコ 5730SSP、5331/W、 (5731/W、5731S/SW、5730SP) 電子マルノコ 5332C/CW、5732C/W 電子造作用精密マルノコ 5310C、5710C	ダストノズル [A-47444]	ホースジョイント 22-38 [418165-8]	φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	電気マルノコ 5637BA/5837BA、 (5636BA、5836BA) 電子マルノコ (5638CBA/5838CBA) 電子造作用精密マルノコ (5617CBA/5817CBA) 充電式マルノコ HS630D			
	充電式マルノコ HS470D、HS471D	ダストノズル [419185-5] ※取り付けにはナベ 小ネジ M4 × 16 911128-8 が必要		
	電気マルノコ 5834BA (5634BA、5635BA、 5835BA) 電子マルノコ (5608CBA、5808CBA、 5633CBA、5833CBA) 電子造作用精密マルノコ (5616CBA、5816CBA)	ダストノズル [193742-4]		
	電気マルノコ 5230 ※付属品のダストノズル使用 際切マルノコ 5840BA 内装直角マルノコ (5210L) 内装マルノコ 5241、(5240L) ※付属品のダストノズル使用 充電式マルノコ SS540D、(SS520D) ※付属品のダストノズル使用	ホースジョイント 22-38 [418165-8]		
	充電式マルノコ HS300D	ダストノズル [A-51817]		
	マルチツール TM3010CT	集じん アタッチメント [A-56889]		
	マルチツール TM3000C	集じん アタッチメント [A-55186]		
	充電式マルチツール TM41D、TM51D	集じん アタッチメント [A-57118]		

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
切断	充電式マルチツール TM40D、TM50D	集じん アタッチメント [A-55170]	ホースジョイント 22-38 [418165-8]	φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	防じんマルノコ 5205FXSP1、KS5200FX、 (5205FX) 充電式防じんマルノコ KS521D、(KS520D)	ホースジョイント 22-38 [418165-8]		
	ジグソー 4327、4329、JV0600K、 (4323、4325) 充電式ジグソー JV100D			
	ジグソー 4350FT 電子ジグソー 4350FCT、 (4340FCT、4342FCT) 充電式ジグソー JV140D、JV180D	ダストノズル [417853-4]	ホースジョイント 22-38 [418165-8]	
	充電式ジグソー JV142D、JV182D	ダストノズル [196747-3]		
	ジグソー (4304、4304T、4306) ※ 4304：製番 13141 4304T：製番 28561 以前は取付不可	ノズル [192547-9] ＋ ラバースリーブ 18-21 [192202-3]		
	ジョイントカッター 3901、PJ7000、PJ140D、 PJ180D	ホースジョイント 22-38 [418165-8]		

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)
研 削 ・ 研 磨	集じんカバー付ディスクサンダ 9533BSK、(9526BSK) 電子コンクリートカンナ PC5001C ホイールサンダ 9740、9741	ホースジョイント 26-38 [192247-1]	φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	コンクリートカンナ (PC1100、PC9001) ベルトサンダ (9401、9402)	エルボジョイント 32 [192613-2]	
	ベルトサンダ (9901)	ジョイント 32 セット品 [192519-4]	
	ベルトサンダ (9900B)	ジョイント 32 セット品 [192518-6]	
	100mm ディスクグラインダ GA4031、GA4032、 GA4033、GA4034	カップダイヤ用 集じんカバー 100mm 用 [A-55158]	
	100mm ディスクグラインダ 9560CV、9533、9533B、 9533BL、9533BLA、 9533L、9533CB、9533BH、 9533BSK、9539B	カップダイヤ用 集じんカバー 100mm 用 [A-52629]	
	125mm ディスクグラインダ 9535、9535B、9535CB、 9565CV、GA5010、GA5021C	カップダイヤ用 集じんカバー 125mm 用 [A-51029]	
	ベルトサンダ 9032	ダストノズルアッセンブリ [122652-8]	
	仕上サンダ (9045N)	ジョイント 22 セット品 [192520-9]	
	仕上サンダ (9036)	ラバースリーブ 18-21 [192202-3]	
	コンクリートカンナ PC9003、(PC9002) ベルトサンダ 9031、9911、9403、9404、9903 仕上サンダ BO3700、BO4900V、(BO3710) 防じんミニサンダ BO4555、BO4565 ランダムオービットサンダ BO5030、BO5041、(BO5021) 充電式ランダムオービットサンダ BO140D、BO180D オービタルサンダ 9046	ホースジョイント 22-38 [418165-8]	
	125mm ディスクグラインダ 9535/B、GA5010、(9522、 9528/B、9544、9532) 125mm 電子ディスクグラインダ 99535CB、9565CV、 GA5021C、GA5041C、(9565C) (ダイヤモンドホイール使用時) 125mm 充電式ディスクグラインダ GA504D	集じんアタッチメント [192618-2]	

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
研削・研磨	100mm ディスクグラインダ GA4031/4032/4033、 GA4034、9533 シリーズ、 9539B、 (9520・9526・9530 シリー ズ、9543、9553B) 100mm 電子ディスクグライ ンダ GA4041C、9533CB、 9560CV 100mm ディスクサンダ (9530S、9526BS、9520S) 100mm 充電式ディスクグライ ンダ GA400D、GA402D (ダイヤモンドホイール使用時)	集じんアタッチメント [192475-8]	ホースジョイント 22-38 [418165-8]	φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	180mm 電子ディスクグライ ンダ GA7011C、GA7020	集じんアタッチメント [194234-6] (ダイヤモンド ホイール使用時)		
	ディスクグラインダ (9500A/N/L/H) ディスクサンダ (9500HS/NS) (ダイヤモンドホイール使用時) 100mm 充電式ディスクグライ ンダ GA403D/404D	集じんアタッチメント [192212-0] + ラバースリーブ 18-21 [192202-3]		

別販売品のご紹介

[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm ×長さ m)
カンナ	充電式カンナ (1050D)			φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	電気カンナ	ノズル	ジョイント	
	KP0800A/SP、KP140D、 KP180D	[451329-1]	—	
	(1900BASP/SP1、1900B/ BA)	55-1 [181572-5]	ジョイント 55 アッセンブリ [JPA122275]	
	(1923H)	セット品 [192065-7]		
	1911B/SP	セット品 [194302-5]		
	(1004、1804/A、1805)	70-1 アッセンブリ [JPA122276]	ジョイント 70 [181575-9]	
	1805NSP、 (1805C/SP、1805N)	70-2 アッセンブリ [JPA122277]		
	1804NSP、 (1804C/SP、1804K、 1804N)	70-3 アッセンブリ [JPA122278]		
	(1805B)	70-4 アッセンブリ [JPA122279]		
	(1824A)	70-5 アッセンブリ [JPA122280]		
	(1806B/SP)	70-6 アッセンブリ [122397-8]		
	KP312	セット品 [193733-5]		

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)
面取り・溝切	小型ミゾキリ (3004A)	ジョイント [192387-5]	φ 38 × 2.5 (標準付属品) [A-33532]
	小型ミゾキリ 3005BA	ジョイント [194287-5]	
	ルータ RP1801 電子ルータ (RP2301FC)	ダストノズル [194934-8]	
	ルータ (3612、3612BR/BRA、 3620/A、3608B) 電子ルータ (3612C)	ダストノズル [192035-6]	
	ルータ RP0910	ホースジョイント 22-38 [418165-8]	

別販売品のご紹介

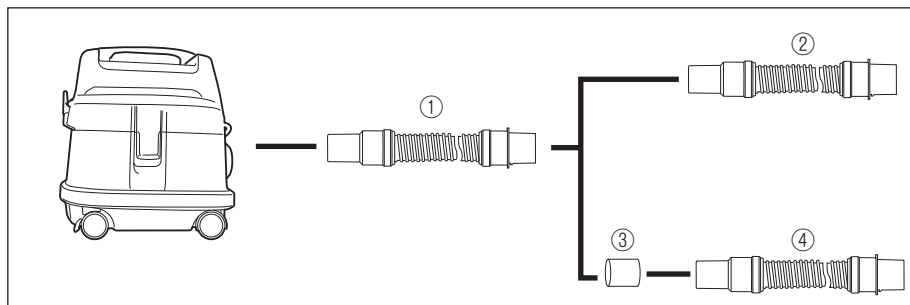
日立製電動工具と接続する場合

適用電動工具	アダプタ	ジョイント	マキタジョイント
集じんマルノコ C4YB、C5YA、C5YC、C4YC、C5YB2			
C4YA2	(997644)		
C6Y1、C8Y			
リフォーム用マルノコ C5MR	(0032-3720)		
深切りマルノコ、マルノコ C5MBY、C5UBY、C6UBY C5MVY、C5UVY、C6UVY	(329331)		
C5MBYA、C5MVYA、C6MBYA、C6MVYA C6MB4、C6UB4、C7MB4、C7UB4	(331942)		
C6SS、C7SS	(333429)		
卓上マルノコ、ベンチマルノコ、 テーブルマルノコ C6RSH、C6RSHC、C7RSHC、C7RSC C8FSE、C8FSH、C8FC、C10FSH C12LDH、C12RSH、C15FB、C10FD3	(308506)	(319986)	
C15FC、C10FE	(308507)		
カンナ P20	(313928)		
カッタ CM4YA	(0032-3918)		
CM5YA	(0032-4949)		
CM6、CM11、CM12Y			
ディスクサンダ S10SA3	(986383)		
100mm・125mmディスクグラインダ PDA-100H、PDH-100H、G10SB1 G10YH2、G10VH、G10SH4、G10SL4 G10SP4、G10ST、G10SM3、G10MH G10B2、G10SS、G14DSL、G18DSL	(0032-3918) (0032-8499)		
G13SP、G13S4、G13SH4、G13SM3 G13SS、G13VH、G13YH2	(0032-3918)		
コードレス集じんマルノコ C14DYSL、C14DYSL2			
コードレスマルノコ C14DSL、C14DSL2、C18DSL2	(329063)		

ジョイントH

別販売品のご紹介

標準付属品ホースを延長する方法



① 口元ロック式 38mm ホース(2.5 m)
部品番号：A-33532

② 口元ロック式ホース全種類
(ただし、19mm ホース(5.0 m)
部品番号：A-34394 は不可)

③ 38mm ホースジョイント
部品番号：192204-9

④ 口元テーパー式38mmホース(2.5 m)
部品番号：A-34096

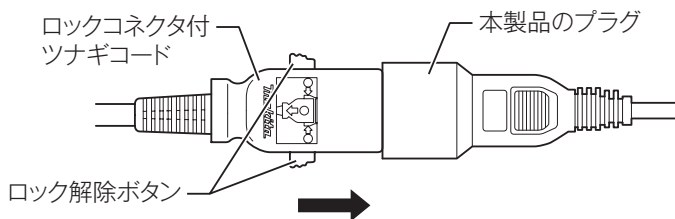
使い方

ロックコネクタ付ツナギコード(延長コード)の接続と取りはずし

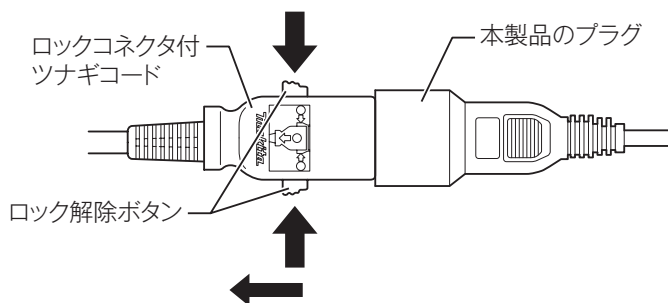
⚠ 警告

ロックコネクタ付ツナギコードを本製品のプラグに接続するときはスイッチが切れていることとロックコネクタ付ツナギコードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードを本製品のプラグに接続するときは、ツナギコードを本製品のプラグの奥まで差し込んでください。



- ・ 取りはずすには、ロック解除ボタンを押した状態で本製品のプラグからツナギコードを引き抜きます。



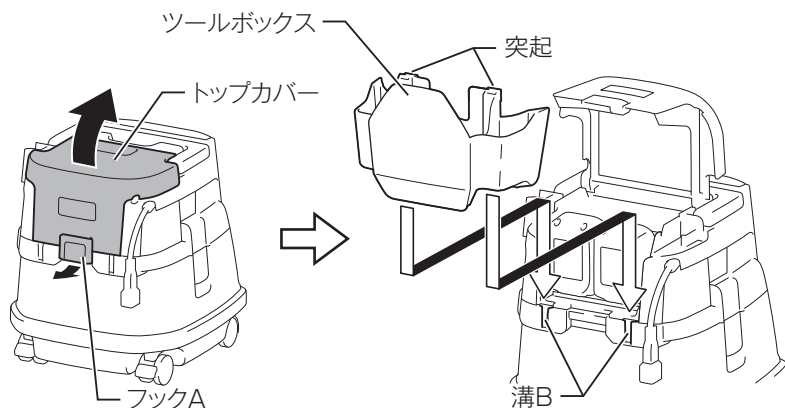
注

- ・ ロックコネクタ付ツナギコードと本製品のプラグを接続したまま、コードを無理に引っ張ったり、本製品をぶら下げないでください。
- ・ ロック解除ボタンを押さずに、無理にプラグを引き抜かないでください。故障の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードは、ほかの電気製品に使用しないでください。

使い方

ツールボックスの取り付け方

1. フック A を引きながら、トップカバーを開きます。
2. ツールボックスの突起 (2 か所) を溝 B (2 か所) にしっかり押し込みます。
3. トップカバーを閉じます。



ホースの取り付け方

⚠ 注意

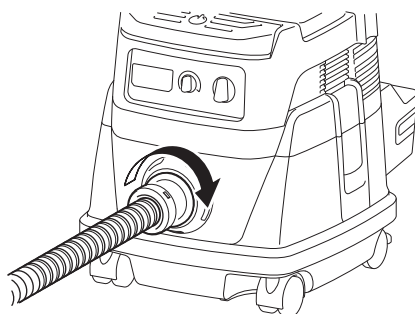
ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

カンナくずやコンクリート片など、粉じん以外のゴミくずを吸引される場合は、付属のホースコンプリート（内径φ 38mm）を使用してください。

- ・ 別販売品のホースコンプリート（内径φ 28mm）では、ホースのつまりや損傷の原因になります。

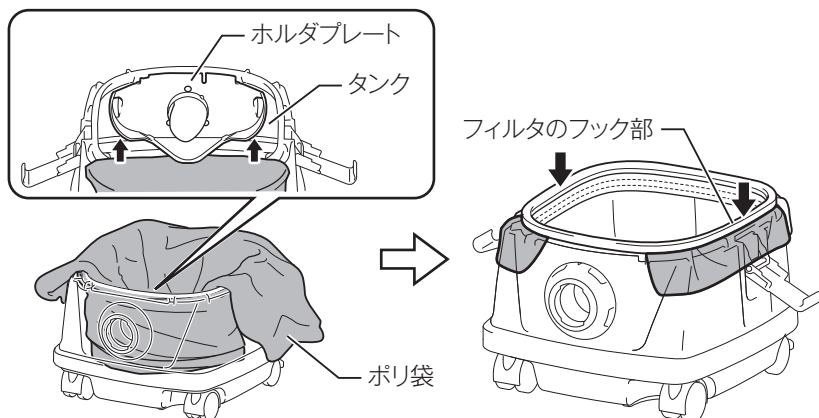
- ・ タンク部のホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定してください。



使い方

ポリ袋の取り付け方（本製品はポリ袋なしでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てがポリ袋を使用することにより手も汚れずに簡単に行えます。）

- ・ ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をホルダプレートとタンクの間にはめ込み、タンクの口元まで引っ張ってください。
- ・ ポリ袋をタンクの口元にそって広げてください。
- ・ クロスフィルタまたはプレフィルタのフック部がポリ袋をしっかりとさみ込むようにセットしてください。



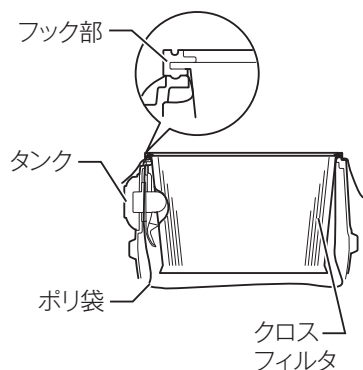
注

- ・ 市販品のポリ袋（45L）が使用可能です。ただし、厚さ 0.04mm 以上のものをおすすめします。また、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

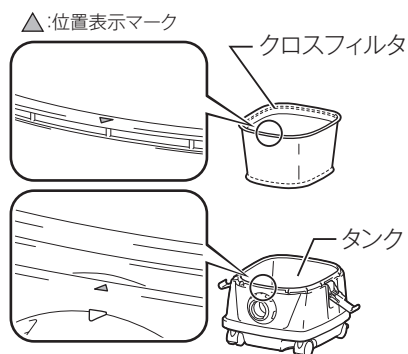
使い方

クロスフィルタの取り付け方

- クロスフィルタをタンクに取り付ける際は、クロスフィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。



- クロスフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。



注

- クロスフィルタを必ず取り付けてご使用ください。乾湿両用フィルタですので、吸水時にも取りはずさないでください。ただし、繰り返し大量に吸水する場合はクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。
- 紙パックを使用するときは、本製品取り付けのクロスフィルタを併用してください。

使い方

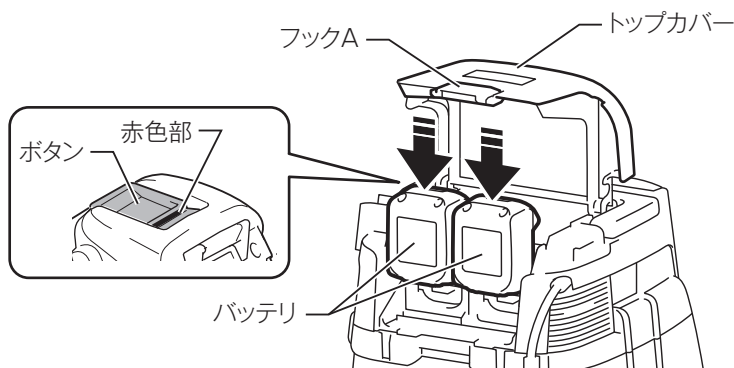
⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

バッテリーの取り付け・取りはずし方

- ・ フック A を引きながら、トップカバーを開きます。
- ・ バッテリーを本製品から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



注

- ・ トップカバーの開閉時に、指をはさまないようにしてください。
- ・ 本製品には充電機能はありません。バッテリーの充電には、充電器を使用してください。

使い方

バッテリー保護機能

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。

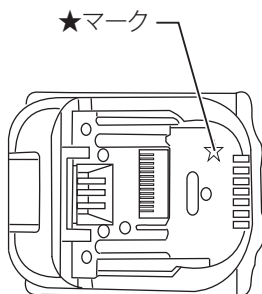
本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

★マーク付きバッテリーを使用する場合

- ・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときはバッテリーの使用を中断し、本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますかまたは、充電してください。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
このときは本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

★マークなしバッテリーを使用する場合

- ・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。パワーが落ちてきたと感じたら本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。



バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。） ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

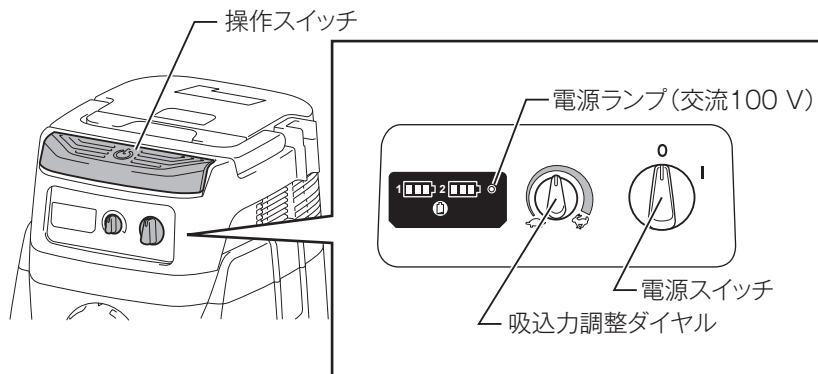
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを挿し込む前や、本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグや、バッテリーを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

1. 電源スイッチを「I」の位置にします。
2. 操作スイッチを押すと運転し、再び押すと停止します。
3. 吸込力調整ダイヤルを回して吸込力の調整をすることができます。
吸込力はダイヤルを右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。



注

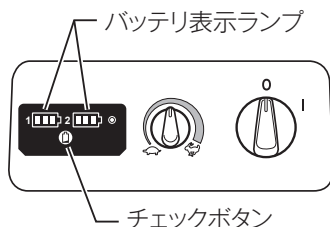
- ・ 電源ランプは、電源コンセントにつないだ状態で電源スイッチを「I」の位置にすると点灯します。
- ・ 交流 100V で運転中に電源プラグを抜くと、バッテリーが装着されていても運転を停止します。
- ・ バッテリーで運転中に電源コンセントにつながると、自動的に交流 100 V の運転に切り替わります。
- ・ 吸込力調整ダイヤルは、目盛の範囲内で回してください。範囲を超えて無理に回すと故障の原因になります。

使い方

各種機能

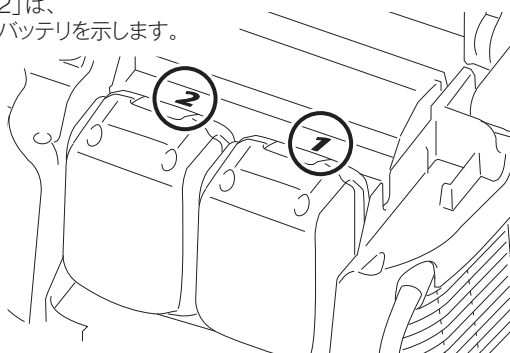
1. バッテリー残容量表示機能

- 電源スイッチが「I」の位置でチェックボタンを押すとバッテリー表示ランプがそれぞれのバッテリー残容量を表示します。
- ※電源スイッチが「0」の位置でチェックボタンを押してもバッテリー残容量は表示されません。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
:点灯 :消灯 :点滅	
	50% - 100%
	20% - 50%
	0% - 20%
	充電してください

バッテリー表示ランプの数字「1、2」は、
バッテリー取り付け部の数字側のバッテリーを示します。



2. 本製品・バッテリー保護機能

- 本製品およびバッテリーの寿命を延ばすために、自動停止する機能です。
- 作業時に、本製品またはバッテリーが次の状態になると自動停止します。
状況によっては、バッテリー表示ランプが点灯します。

使い方

過負荷保護機能

- 作業時に異常な負荷を感知すると、本製品は自動停止します。スイッチを切り、過負荷の要因を取り除いた後、再度スイッチを入れてください。

注

- 過負荷の作業を連続して行って自動停止したときは、スイッチを操作しても再始動しない場合があります。その際は、バッテリーの交換を知らせるランプが表示されます。バッテリーをはずして充電してから本製品に取り付け、スイッチを入れてください。

発熱保護機能

- 本製品が熱くなると、本製品は自動停止してバッテリー表示ランプが点灯・点滅します。再始動前に本製品を十分に冷ましてください。

バッテリー表示ランプ	 :点灯  :消灯  点滅
	本製品の異常発熱

過放電保護機能

- バッテリー残容量が少なくなると、本製品は自動停止します。スイッチを操作しても本製品が動作しない場合、バッテリーをはずして充電してください。

使い方

吸水時の自動吸込停止機構について

⚠ 警告

フロートが働いたままで、長時間運転しないでください。

- ・ 過熱により本製品の変形の原因になります。

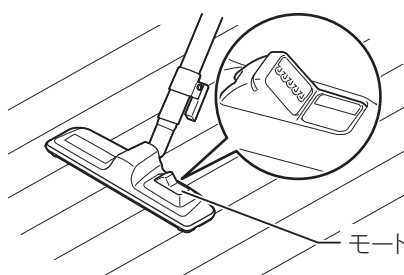
泡や石けん水などは吸い込まないでください。

- ・ フロートが働く前に空気の出から泡が吹き出します。このまま使用すると感電や故障の原因になります。
- ・ 本製品には一定量以上の水を吸い込んだ場合にモータ内に水が侵入するのを防ぐフロート機構が付いています。
- ・ タンク内に水が一杯になり、水を吸い込まない場合は速やかにスイッチを切り、水を捨ててください。

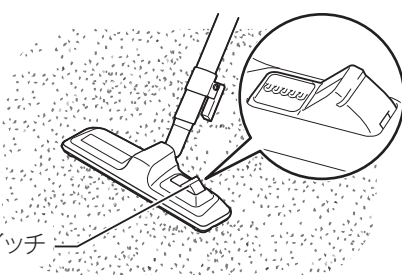
切替ノズル（集じん機用）の使い方

- ・ 切替ノズル（集じん機用）は、使う場所に合わせて、モードを切り替えてお使いください。
- ・ 床やたたみなどでお使いの場合は、フロアモード（左図）でお使いください。
- ・ じゅうたんなどでお使いの場合は、じゅうたんモード（右図）でお使いください。

フロアモード



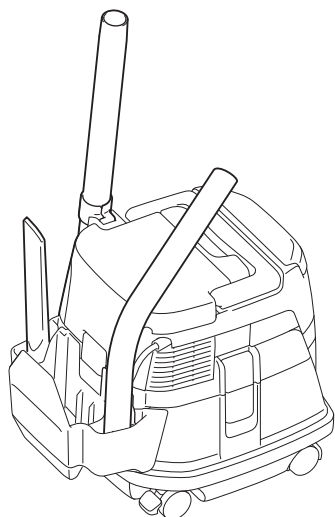
じゅうたんモード



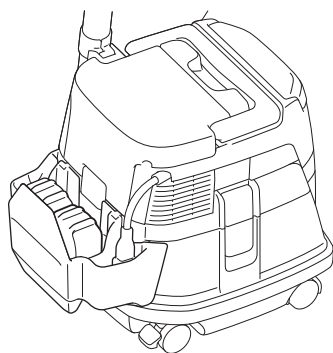
使い方

ツールボックスの使い方

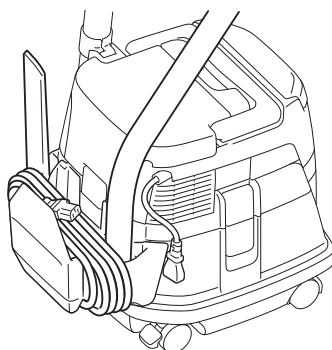
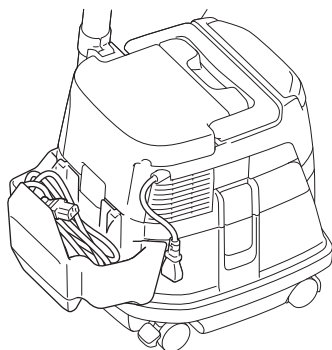
- ・ ツールボックスには、各種パイプ、ノズル、バッテリー、コードなどを収納することができます。



[各種パイプ・ノズル収納例]



[バッテリー収納例]



[コード収納例]

使い方

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、本製品からバッテリーも抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだままや、本製品にバッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

タンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

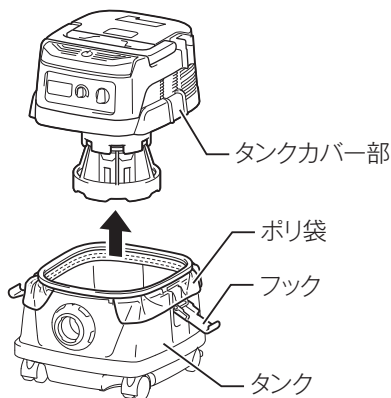
ゴミの吸引量にもよりますが、タンク内のゴミは毎日 1 回以上捨ててください。

- ・ 吸引力の低下やモーターの故障の原因になります。

タンク内のゴミを捨てるときは、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

- ・ フックをはずしてタンクカバー部分をタンクから取りはずします。
- ・ クロスフィルタに付着したゴミをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出してください。



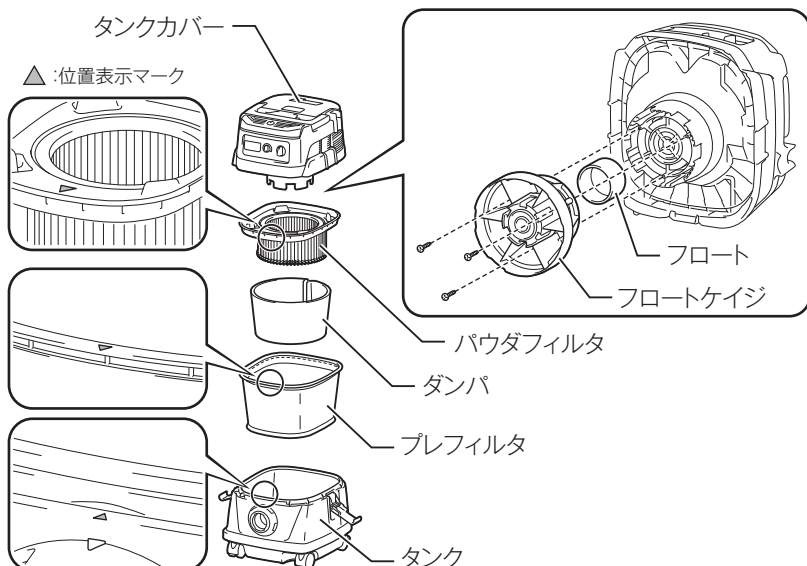
注

- ・ ゴミの溜まったポリ袋を本製品から取り出す際はタンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ゴミを溜めすぎると重くなりポリ袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。

別販売品の使い方

パウダフィルタの取り付け方

- ・ ⊕ドライバでフロートケイジ固定用ネジ（3 か所）をゆるめフロートケイジ、フロートを取りはずしてください。



- ・ タンクにプレフィルタを入れます。
- ・ 次にダンパをパウダフィルタに装着してからプレフィルタの中に収めます。
- ・ パウダフィルタ、プレフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。
- ・ 最後にタンクカバーを取り付けます。

注

- ・ フロートケイジとフロートの取り付けの際は、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ パウダフィルタ使用時は必ずプレフィルタとダンパを併用してください。パウダフィルタ単品では取り付けることはできません。
- ・ 湿式でご使用になれる場合は、パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタをはずしてフロート、フロートケイジを装着し、水用フィルタを併用してください。

別販売品の使い方

粉じんの捨て方（別販売品のパウダフィルタ使用時）

⚠ 警告

粉じんを捨てる際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、本製品からバッテリーも抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだままや、本製品にバッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

パウダフィルタやタンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

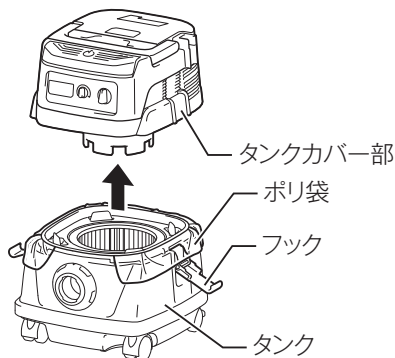
粉じんの吸引量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日 1 回以上捨ててください。

- ・ 吸引量の低下やモーターの故障の原因になります。

タンク内の粉じんを捨てる時は、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

- ・ フックをはずしてタンクカバーを上方へ引き上げます。
- ・ パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタに付着した粉じんをポリ袋に落とし、タンクからポリ袋を取り出してください。



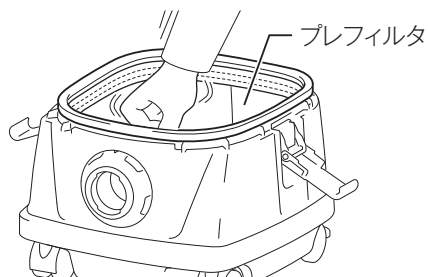
注

- ・ 粉じんの溜まったポリ袋を本製品から取り出す際はタンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ポリ袋が破れる恐れがありますので、粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

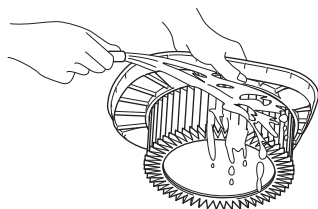
別販売品の使い方

別販売品パウダフィルタのお手入れ

- ・ パウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、パウダフィルタなどに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
- ・ ちりおとしの方法はプレフィルタ、ダンパを手で軽くはたいてください。



- ・ パウダフィルタは水洗いができますので定期的（1～2ヵ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はパウダフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。

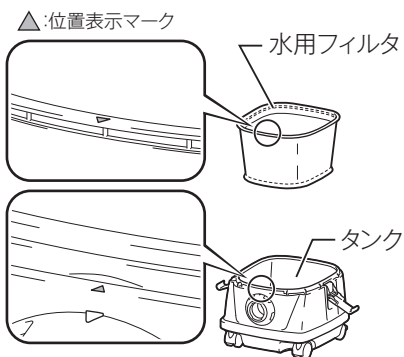


注

- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでパウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパをこすってキズを付けないようにしてください。
- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。

水用フィルタの取り付け方

- ・ 水、湿ったゴミを吸引する場合はクロスフィルタの代わりに水用フィルタを使用してください。
- ・ 水用フィルタをタンクに取り付ける際は、水用フィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。
- ・ 水用フィルタは位置表示マークを合わせて取り付けてください。



別販売品の使い方

紙パックの取り付け方

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、本製品からバッテリーも抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだままや、本製品にバッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

紙パックを使用するときは、本製品取り付けのクロスフィルタを併用してください。

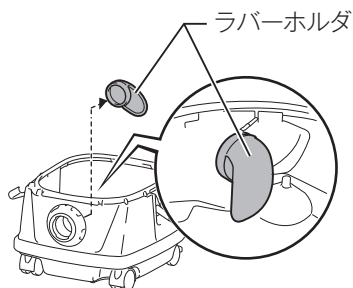
- ・ 紙パックが破損したとき、モータにゴミが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

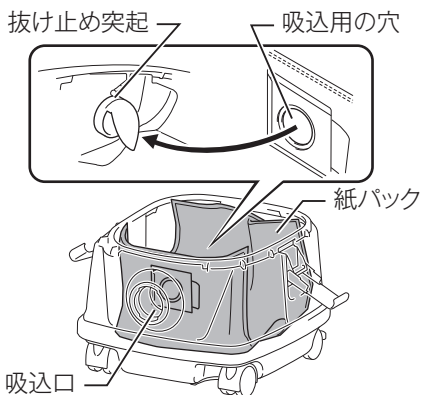
紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

- ・ 破れる原因になります。

- ・ ラバーホルダをはずします。

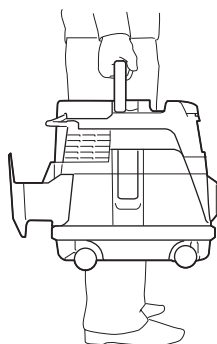


- ・ 紙パックを広げます。
- ・ 紙パックの吸込用の穴を本製品の吸込口に合わせます。図の矢印方向へ、紙パックのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるように、しっかり挿し込んでください。



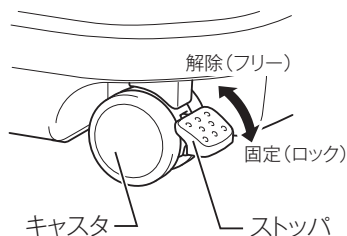
取っ手の使用方法

- ・ 運搬・移動する場合は、図のようにヘッド部の取っ手を持って行います。取っ手を使用しない場合はヘッド部に収納できます。



キャスタの固定・解除

- ・ キャスタ（ストッパ付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。
- ・ 本製品を収納する場合、作業を中断する場合、作業中など、本製品の動きを止めておきたい場合に便利です。
- ・ ストッパの操作は手で行ってください。

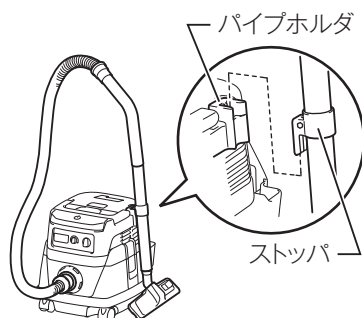


注

- ・ 本製品を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

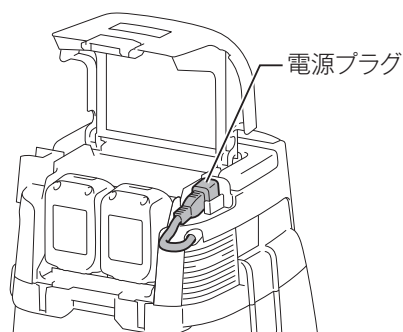
パイプホルダへの収納方法

- ・ お掃除をちょっと中断したときに、パイプホルダにパイプを立てられます。



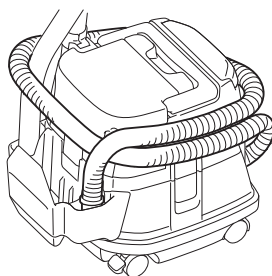
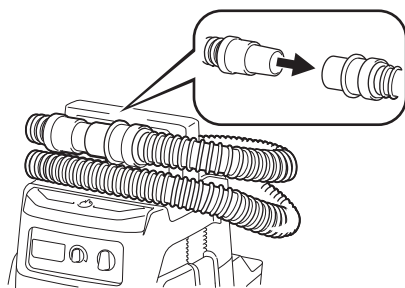
電源プラグの収納方法

- ・ 収納した後、タンクカバーを閉じることができます。



ホースの収納方法

- ・ ホースの両端を接続したり、ツールボックスを利用した収納ができます。



注

- ・ パイプホルダに取り付けた状態の付属品に過度の力を加えないようにしてください。パイプホルダの破損の原因になります。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、本製品からバッテリーも抜いてください。

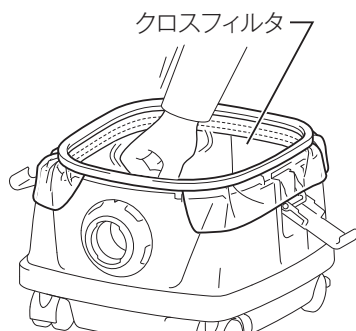
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだままや、本製品にバッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

- ・ 感電やけがの原因になります。

フィルタのお手入れ

- ・ フィルタの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着したほこりはこまめに取り除いてください。
- ・ ちりおとしの方法は、クロスフィルタ内側を手で軽くはたいてください。
- ・ クロスフィルタは時々水でもみ洗いをし、陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ クロスフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布が薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882897E7
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）